向陽高等学校研究推進部通信

QUEST FOR TRUTH

ー真理を求めて世界へ羽ばたけ

第 9 号

平成29年

6月8日発行

ほしのさんのドイツレポート

5 月、大学訪問をしました。大学、私大、専門学校それぞれです。面白かったのが、どれも講堂の机配置が黒板を見下ろすような段々畑の作りになっていたことです。それは教授を見下ろす意味でもあります。列ごとに高さを変えるのは日本と変わりない（確かではない）、でもここの場合最後列はもう二重黒板のてっぺんあたりの高さから教壇を見下ろす感じなのです。代わりに一人あたりのスペースが広びろとしていました。一番気に入ったのはロストック大学です。昼食が美味しいのが魅力でした。（笑）私の専攻したい科が無いのが残念でした。大学訪問をして初めて知ったのは、ドイツで教員になろうと思ったら2つの専門科目を習得しなければならないということです。確かにうちの高校で先生方は誰しも 2 教科ずつもっています。組み合わせとしては《数学・倫理》《英語・地理》《国語・歴史》《体育・国語》といったバラバラな感じです。 2つの分野を同時習得しなければならない教育科学部はほかと比べて少し特別だと話していました。どうして2つの教科が必要なのか理由が気になります。

時間が合えば担任に聞いてみます。

話は難民に変わります。留学し始めた去年夏頃は学校に難民の姿をみることはありませんでした。最近になって 5～6 人の生徒が見られます。私の通うギムナジウムは大学進生向けの学校なので、入校前にある程度のドイツ語の知識が難民に問われるらしく、そのレベルに達するまで時間がかかるのでしょう。それとも難民自体が増えたのでしょうか。

学校とは別のドイツ語講座のクラスメイトはほとんど難民で成り立っています。 そこのクラスメイトの 2 人（親娘）が追い出されるとは言いかたは違うかもしれませんが、なんらかの理由で来週ここを去らないといけないそうです。とてもいい方だったので寂しいです。

彼らと勉強してて思うのが **テロ事件などの報道で関わるのを恐れていた難民と呼ばれる人たちは、みんなが皆んな危ない人たちではないです。テロを起こす人は本当に助けを必要としている人に紛れ込んで悪事をするなどとても酷い人だと思います。**

5 月の思い出はレーザータックをしに友達と行ったことです。日本にある遊びかはわからないですが、機会があれば皆さんにも試していただきたいです。

ドイツにいれるのもあと 20 日くらいです。 あまり実感していないけどこの 10 ヶ月書き続けた日記や写真を見返すと成長したんだな～ってわかります。残りも楽しみます😊

英語でお仕事プログラム

8月17日(木)OIST　9:00～12:15

詳細は要項を見て！

校内説明会　6月9日(金)12:00～

多目的教室①

アジアユースプログラム

沖縄3週間

アジアの高校生達と交流できるよ！

詳細は要項を見て！

校内説明会　6月9日(金)12:15～

来年度出発の国際性に富む人材育成留学事業(約10ヶ月の海外留学)への募集は来月予定です。 自分が行きたい国に対するリサーチ、そこで何を学びたいかなど具体的に考えておいて下さい。